

バイオリソースが駆動する生命科学とイノベーション

プログラム

2021年10月20日（水）

「植物、微生物、共生：食料と環境を支える生き物たちの科学」

第一部（午前） BRCの取り組み

10:00～	開会の辞 理化学研究所BRC センター長 城石 俊彦
10:05～ 小林 正智	理化学研究所BRC 実験植物開発室長 ゲノム解読から20年、シロイヌナズナが拓いた未来
10:25～ 大熊 盛也	理化学研究所BRC 微生物材料開発室長 環境と健康の研究に資する微生物リソース事業
10:45～ 市橋 泰範	理化学研究所BRC 植物-微生物共生研究開発チームリーダー 植物×微生物で21世紀の緑の革命をめざす
11:05～ 三輪 佳宏	理化学研究所BRC 遺伝子材料開発室長 遺伝子リソースの多様性と展望 ～ヒト病原ウイルス遺伝子を含めて～

第二部（午後） 招待講演

13:30～ 大野 博司	理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム チームリーダー 腸内細菌叢と自己免疫疾患
14:00～ 黒川 顕	国立遺伝学研究所 ゲノム進化研究室 教授 微生物データサイエンス
14:30～ 野村 暢彦	筑波大学 生命環境系 微生物サステナビリティ研究センター 教授 見えてきた微生物の集団性と不均一性 ～21世紀の微生物制御を目指して～
15:00～	休憩
15:15～ 東山 哲也	東京大学大学院理学系研究科 教授 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 イメージングから解き明かす植物という多細胞体の生存戦略
15:45～ 松林 嘉克	名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学専攻 細胞間シグナル研究 グループ 教授 理研バイオリソースに支えられた植物ペプチドホルモン研究
16:15～ 南澤 究	東北大学大学院 生命科学研究科 生態発生適応科学専攻 土壌微生物 分野 特任教授 食料と環境を支える植物共生微生物：根粒菌とメタン酸化窒素固定菌
16:45～	閉会の辞 理化学研究所BRC 副センター長 阿部 訓也

2021年10月21日（木）

「幹細胞イノベーション」

第一部（午前） BRCの取り組み

10:00～	開会の辞 理化学研究所BRC センター長 城石 俊彦
10:05～ 中村 幸夫	理化学研究所BRC 細胞材料開発室長 細胞培養の歴史と理研細胞バンク事業
10:25～ 阿部 訓也	理化学研究所BRC 疾患ゲノム動態解析技術開発チームリーダー バイオリソース分子表現型解析のためのシングルセル解析プラットフォームの構築
10:45～ 井上 治久	理化学研究所BRC iPS創薬基盤開発チームリーダー リプログラミング技術を用いた創薬基盤開発
11:05～ 林 洋平	理化学研究所BRC iPS細胞高次特性解析開発チームリーダー バイオリソースとしてのiPS細胞に対する特性解析と解析技術の開発
11:25～ 榎屋 啓志	理化学研究所BRC 統合情報開発室長 バイオリソース情報の統合と発信

第二部（午後） 招待講演

13:30～ 篠原 隆司	京都大学大学院 医学研究科 遺伝医学講座 分子遺伝学分野 教授 不妊症の遺伝子治療
14:00～ 戸口田 淳也	京都大学 iPS細胞研究所・増殖分化機構研究部門 教授 疾患特異的iPS細胞の医療応用：現況と展望
14:30～ 林 克彦	九州大学大学院医学研究院 ヒトゲノム幹細胞医学分野 教授 卵胞構造の再構築 ～幹細胞からの個体発生を目指して～
15:00～	休憩
15:15～ 山崎 聡	筑波大学・医学医療系・幹細胞治療研究室 教授 造血幹細胞の増幅技術開発とその臨床応用に向けて
15:45～ 横川 隆司	京都大学大学院工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻 教授 二次元・三次元Microphysiological systems (MPS) の開発 ～マイクロ流体デバイスを生命・医科学研究の基盤技術に～
16:15～	閉会の辞 理化学研究所BRC 副センター長 阿部 訓也

2021年10月22日（金）

「マウスモデルを用いた健康・医療問題への挑戦」

第一部（午前） BRCの取り組み

10:00～	開会の辞 理化学研究所BRC センター長 城石 俊彦
10:05～ 吉木 淳	理化学研究所BRC 実験動物開発室長 ゲノム機能の解明と疾患克服のためのマウスリソース
10:25～ 小倉 淳郎	理化学研究所BRC 遺伝工学基盤技術室長 命をつなげる技術を究める
10:45～ 田村 勝	理化学研究所BRC マウス表現型解析開発チームリーダー 日本マウスクリニック
11:05～ 天野 孝紀	理化学研究所BRC 次世代ヒト疾患モデル研究開発チームリーダー 疾患モデル開発における亜種マウスシステムの活用

第二部（午後） 招待講演

13:30～ 伊川 正人	大阪大学微生物病研究所 遺伝子機能解析分野 教授 トランスジェニック、ノックアウトからゲノム編集へ：遺伝子改変マウスと生殖生物学研究への応用
14:00～ 小崎 健次郎	慶應義塾大学 医学部 臨床遺伝学センター 教授 ゲノム情報を手がかりにモデル動物から難病にアプローチする
14:30～ 真下 知士	東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設 施設長 先進動物ゲノム研究分野 教授 ゲノム編集とバイオリソース
15:00～	休憩
15:15～ 水島 昇	東京大学大学院 医学系研究科 教授 オートファジー研究を支えた動物モデル
15:45～ 柳沢 正史	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IHIS) 機構長 睡眠覚醒の謎に挑む ～マウスforward geneticsを武器として～
16:15～	閉会の辞 理化学研究所BRC 副センター長 阿部 訓也

このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています